

研究課題名	マイクロ波乳房イメージングの最適画像化アルゴリズムの開発研究
研究責任者名	原爆放射線医科学研究所 腫瘍外科 教授 岡田 守人
研究期間	実施許可日 ～ 2026年3月31日
対象者	2018年11月から2020年3月の間に、広島大学病院乳腺外科で臨床研究によって携帯型乳腺腫瘍検出装置による検査を受けられた患者さん。
意義・目的	マイクロ波を利用する乳房イメージング法は、痛みや放射線被曝がない新しい乳房検査法として期待されていますが、まだ開発段階の技術です。今回、マイクロ波乳房イメージング装置である携帯型乳腺腫瘍検出装置で得られたデータをより高精度に解析し、最適な画像を構築するために、この研究を計画しました。
方法	本研究は、診療録（カルテ）情報とすでに測定した携帯型乳腺腫瘍検出装置のデータを調査して行います。カルテから使用する内容は年齢、身長、体重、乳腺濃度、乳腺腫瘍の位置と大きさ、乳房臨床画像、乳腺腫瘍の病理組織像、などです。 （個人を特定可能な情報は解析に用いません）
研究の実施体制	研究代表機関 広島大学 原爆放射線医科学研究所 腫瘍外科 岡田 守人 研究機関の長 広島大学理事 田中 純子 共同研究機関 電気通信大学 木寺 正平 本学と電気通信大学で共同して解析を行います。
外部へ情報の提供	共同研究機関である電気通信大学への情報提供は、誰のものか分からないように個人情報を加工した後、パスワードを設定した記憶媒体を郵送または持参することで行います。 個人情報に立ち返るための資料（対応表）は共同研究機関へは提供しません。 利用または提供を開始する予定日：本学における実施許可日（2020年5月13日）以降
試料・情報の管理責任者	原爆放射線医科学研究所 腫瘍外科 教授 岡田 守人
個人情報の保護について	調査内容につきましては、プライバシー保護に十分留意して扱います。情報が個人を特定する形で公表されたり、第三者に知られたりするなどのご迷惑をお掛けすることはありませんのでご安心ください。 研究に資料を提供したくない場合はお申し出ください。お申し出いただいても不利益が生ずるこ

とはありません。ただし、すでにこの研究の結果が論文などで公表されている場合には、提供していただいた情報や試料に基づくデータを結果から取り除くことが出来ない場合があります。なお公表される結果には、特定の個人が識別できる情報は含まれません。

また、本研究に関するご質問等あれば下記連絡先までお問い合わせください。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報等の保護や研究の独創性確保に支障がない範囲内で、研究計画書および関連書類を閲覧することができますので、お申し出ください。

問合せ・苦情等の窓口

〒734-8551 広島市南区霞 1-2-3

TEL : 082-257-5869

広島大学病院 乳腺外科 助教 笹田 伸介